

第二回LOM取材 公益社団法人 鎌倉青年会議所

輝く関東の絆醸成委員会 第二回目のLOM事業取材は5月23日（日）公益社団法人 鎌倉青年会議所にて第42回慈善茶会を取材致しました。残念ながら宮本理事長、兵藤専務とは事業のほうに忙しくお会いすることはできませんでしたがメンバー一同楽しみながらの取材となりました。



大仏殿高德院での慈善茶会は、鎌倉青年会議所の代表的な事業のひとつで茶道裏千家お家元をはじめ、地元の学生さんなどの協力によって、毎年5月に開催されているそうです。この茶会を通して地域との交流を図り、また伝統文化の継承と発信を行っているそうです。

この茶会では寄付金を募り、集められた寄付金は、災害の復興支援や青少年育成事業などの慈善活動に役立てられています。



慈善茶式の様子

茶道裏千家お家元



大仏様に献茶



地元の高校生の淹れたお茶を
メンバーもおいしく頂きました。



献茶式の後には江ノ電に乗って鎌倉駅へ
レアな江ノ電でした



青い江ノ電 みなさん乗ったことありますか



2010年度 公益社団法人 鎌倉青年会議所

宮本 泰三 理事長

2010年度 テーマ

『人づくりから始める未来(あす)のまち』

スローガン

『プラス発想』

宮本理事長さまよりコメントを頂きました。

拝啓 初夏の候 皆様益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は公益社団法人鎌倉青年会議所の活動にご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私共、鎌倉青年会議所の主催する慈善茶会が、茶道裏千家千宗室御家元様、茶道裏千家千玄室大宗匠様、大仏殿高德院佐藤ご住職、そしてこの慈善茶会にかかわって頂いております全ての皆様方のお陰をもちまして、本年で第42回目を迎えることができました。

鎌倉JCメンバーの殆どは入会時には茶道に関して未経験であり、入会してからお点前の稽古に励み、茶道の思いやりの精神を学んで参りました。また同時に、お茶会当日の会場設営のために日々準備を行うなどして、茶会当日を迎えることができました。

当青年会議所創立5周年の記念事業として始まった慈善茶会は本年までの42年の間に地域に対する役割を少しずつ変えながら開催させていただいております。地域の児童、生徒や学生といった未来のまちを担う青少年と一緒に慈善茶会を開催できることは、日本の伝統文化を継承していくことや、子供たちの創造性を引き出すことに繋がり、これからの地域や社会にとって大変有意義なことであると考えております。

また、本茶会で皆様よりお預かりする寄付金をもとに、地域の未来を担う子どもたちが、さらに健全に育つための一助となる講演会を開催する予定です。その節には皆様にもぜひご来場いただければ幸いです。私たち鎌倉青年会議所は慈善茶会を通して、未来を担う子どもたちが健全に育つ活動を行って参ります。

42年もの永きにわたる皆様のご厚誼に感謝すると共に、今後とも慈善茶会の開催に、ご理解とご支援を頂きたくお願い申し上げます。

敬具

2010年6月吉日

公益社団法人 鎌倉青年会議所

第46代理事長 宮本 泰三